



瀬戸らしい介護予防 ～“三方よし”の企業連携を目指して～

瀬戸市役所高齢者福祉課地域支援係
管理栄養士 伊藤 里穂

瀬戸市の概要

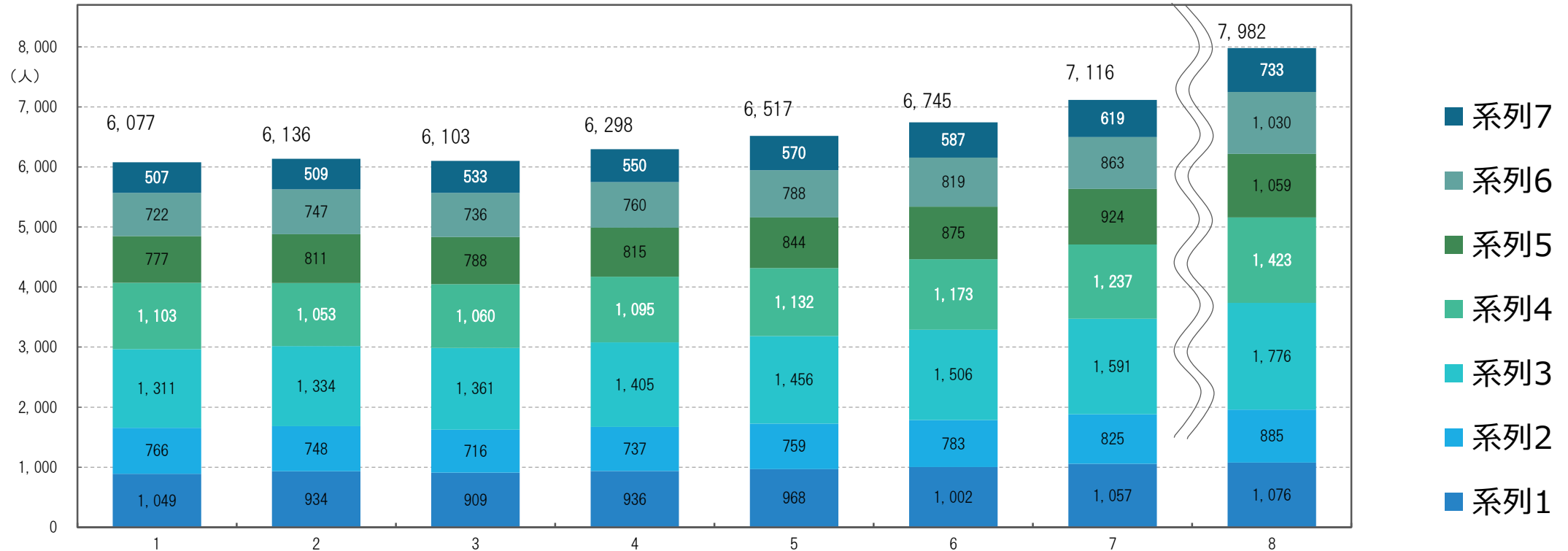
人口

12万9131人（令和2年10月1日時点）

高齢化率

29.7%（前年比+0.2%）

要支援・要介護高齢者数



■ 要支援・要介護認定者数の推移と推計（第1号被保険者）

いままでの介護予防事業

● 介護予防と介護保険サービスの役割が明確でなかった

- ・事業タイトルが『一般介護予防（運動・栄養）』や『ミニデイ』といったもので元気な高齢者から参加しづらいという声を多くいただいていた
- ・包括やケアマネへの事業説明が十分できておらず、介護保険外サービスとして活用してもらいにくかった

● 事業内容がマンネリ化していた

- ・公募をかけても同じ事業者しか声がかからず、新しい企画が生まれにくかった
- ・参加者も同じ方が多く、新規利用者の獲得が難しかった

● マンパワー不足

- ・市で行う作業が多く、マンパワーが必要だった
- ・事業の見直しや、新規事業者の開拓などに費やす時間がなかった

現在の介護予防事業

- “介護” や“高齢者”のイメージを打ち消す

- ・“介護というキーワードを出さないことで、元気高齢者が参加しやすい教室に！

- “大人の・・・”でタイトルを統一

- ・介護予防事業全体をパッケージ化し、ひとつの事業だけでなく幅広く参加していただけるように工夫を！

例) 一般介護予防事業 (運動・栄養) →大人の充活！ワンコイントレーニング
一般介護予防事業 (口腔) →大人のオーラルケア教室
大人の本気ダンスプロジェクト (新規事業)

- 事業形態の多様化

- ・介護予防の中には、プログラミングによる認知機能向上やスマートエイジングなど多様なプログラムを取り入れています。
実施したい！と声をかけてくださる事業者様が増加しました。



瀬戸市の介護予防事業の強み



地域資源



在宅医療・
介護連携



民間事業者



介護予防における企業連携のメリット

- 民間企業の持つノウハウを公共サービスに取り入れることができる
- 質の良いサービスを持続的に提供できる
- 硬直的になっていた事業内容の見直しをしやすい

↳ 市民・企業・行政のにとって“**三方よし**”の事業を展開しやすくなる！

民間企業と連携して取り組んでいる事業では
保険者機能強化推進交付金を活用しています！



- 平成29年地域包括ケア強化法において、**高齢者の自立支援・重度化防止等**に向けた保険者の取組や都道府県による保険者支援の取組が全国で実施されるよう、P D C Aサイクルによる取組を制度化
- この一環として、自治体への財政的インセンティブとして、市町村や都道府県の様々な取組の達成状況を評価できるよう客観的な指標を設定し、市町村や都道府県の高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取組を推進するための保険者機能強化推進交付金を創設
(厚生労働省資料より抜粋)

公民連携事業 事例①

大人の本気ダンスプロジェクト

第一興商
×
瀬戸市

事業内容

- 市民とともに口腔機能向上のためのダンスを作成。
- ダンスの歌詞は、参加者から募った瀬戸市に由来するワードを募集。

応募のあったキーワード

瀬戸焼きそば ごも飯 うなぎ

瀬戸川 岩屋堂 せともの祭り

瀬戸焼 染付焼 招き猫

などの“瀬戸を表す言葉”
を多く取り入れました！

- RAP調の歌詞に乗せて効果的に口を動かすことにより口腔機能を向上させます。（歯科医師に監修を依頼）

「元気に暮らす高齢者の姿がシティプロモーションに！」



行政のイメージを払しょくしたカッコいいチラシを
第一興商様にご提案いただき作成！
元気な高齢者の目を引くデザインに

公民連携事業 事例①

大人の本気ダンスプロジェクト

第一興商
×
瀬戸市

★プロモーションビデオの撮影風景★

みなさん笑顔で撮影に参加していました！



↑飛沫対策としてフェイスシールドを着用
安全対策を実施して撮影に取り組みました。



瀬戸蔵ミュージアムで撮影♪

瀬戸らしい風景を
PVに盛り込みました！

公民連携事業 事例①

大人の本気ダンスプロジェクト

第一興商
×
瀬戸市



↑ 歌詞の中にあるRAP部分の撮影は
口の動きが分かるように顔をアップにして撮影しています



公民連携事業 事例①

大人の本気ダンスプロジェクト

第一興商
×
瀬戸市

今後の展開

- 作成したダンスの動画を、市のYouTubeで配信予定。
→自宅のできるオーラルフレイル予防として普及啓発を行う
- 参加者は、ダンスを市内に広める**伝道師**として活躍予定
- 通いの場や様々なイベントでも本気ダンスを披露し、啓発を行う



将来的には、第2弾、第3弾と事業を展開し、養成した伝道師が新たな**伝道師（担い手）**を育成する“自走モデル”を目指して事業を進めていきます！

公民連携事業 事例②

高齢者見守りシステム事業

IIIJ
×
瀬戸市

事業内容

R3.2.1時点で42件の登録あり！

- 冷蔵庫の扉にセンサーを取り付け、開閉状況から**見守り**を行う。
- 開閉が一定時間見られない場合、コールセンターから本人、家族へと**安否確認**の連絡を行う。

事業実施の背景

- 従来実施していた『緊急通報装置設置事業』だと、固定電話を持たない方や、近くに近親者がいないと利用が難しかった
- 離れて暮らす家族にとって“見守り”ができるサービスがなかった
- 一人暮らし高齢者が増加していることから、緊急時に早期発見できる仕組み作りが必要と感じていた

令和元年実証実験

令和2年10月から本格運用開始

月額・税込
980円
詳しくは裏面へ

瀬戸市
高齢者見守りシステム

もーやっこサポート を開始します！

瀬戸市では、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、IoTを活用した『もーやっこサポート』を開始します。
『もーやっこ』とは瀬戸の方言で“みんなで分け合う”という意味があります。
“冷蔵庫の開閉”といった日常生活を通じて、ご家族や地域のみんで高齢者をそっと見守り、安心・安全な暮らしをサポートします。

もーやっこサポートとは

みまもりセンサー
冷蔵庫の開閉でセンサーが反応します

- 冷蔵庫の開閉が一定時間ないと、異変を検知
- 電話にて安否確認
- 電話が繋がらない場合、ご家族に連絡

コールセンター
(0562-81-9000)

ご家族

見守り体制の充実	離れて暮らす家族からも申込可能	簡単設置
コールセンターを活用し、ご家族が安心して日々を過ごせるようにサポートします。	瀬戸市以外にお住まいの離れて暮らすご家族からもお申し込みいただけます。	電話回線やインターネット回線が不要で、簡単に取り付けられます。訪問設置も行います。

公民連携事業 事例②

高齢者見守りシステム事業

IIJ
×
瀬戸市

機器→株式会社ネコリコ
コールセンター業務→株式会社シーモス



公民連携事業 事例②

高齢者見守りシステム事業

IIJ
×
瀬戸市

情報のデータ分析例

利用者
Aさん

なかなか寝付けなくて、
お医者さんから睡眠薬を
処方してもらっています

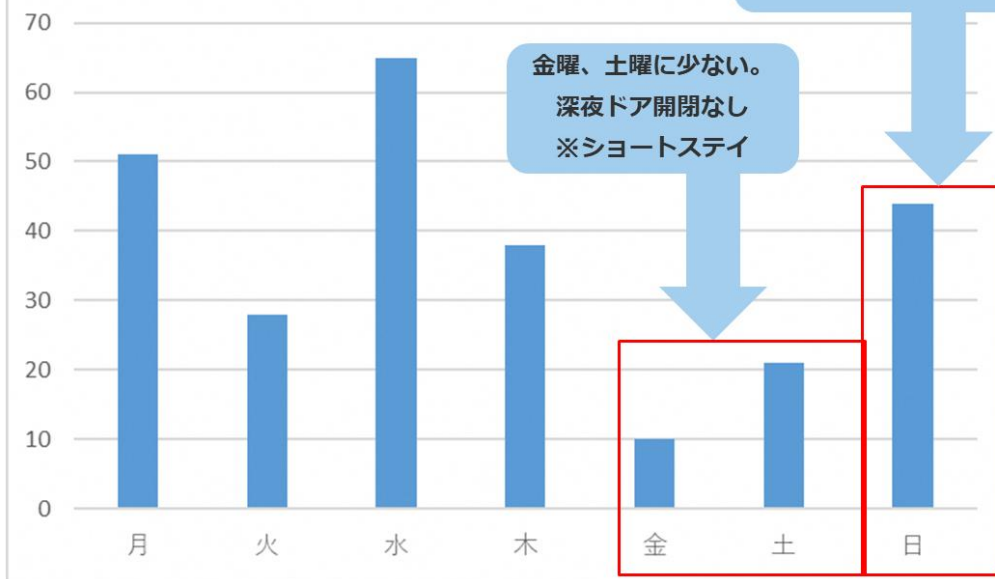
デイサービスやショートステイのない
運動量の少ない日は睡眠がとれてい
ないようです。

ケアプランを見直して、お薬だけに頼ら
ず眠れるよう工夫してみましょう！

曜日	回数
月	51
火	28
水	65
木	38
金	10
土	21
日	44

冷蔵庫ドア開閉

曜日別



高齢者見守りシステム事業

IIJ
×
瀬戸市

今後の展開

- 高齢者の生活パターンから、生活状態・健康状態等を分析し、要介護状態となる前に支援につなげる
- 在宅医療・介護連携システム（電子@連絡帳）と連動させ、データを関係者間で共有予定
- 将来的には、**ふるさと納税の返礼品**として展開することも検討
- **住宅確保要配慮者**の賃貸アパートへの契約のサポートにも活用（居住支援法人と連携し、賃貸業者にもサービスの情報を発信！）

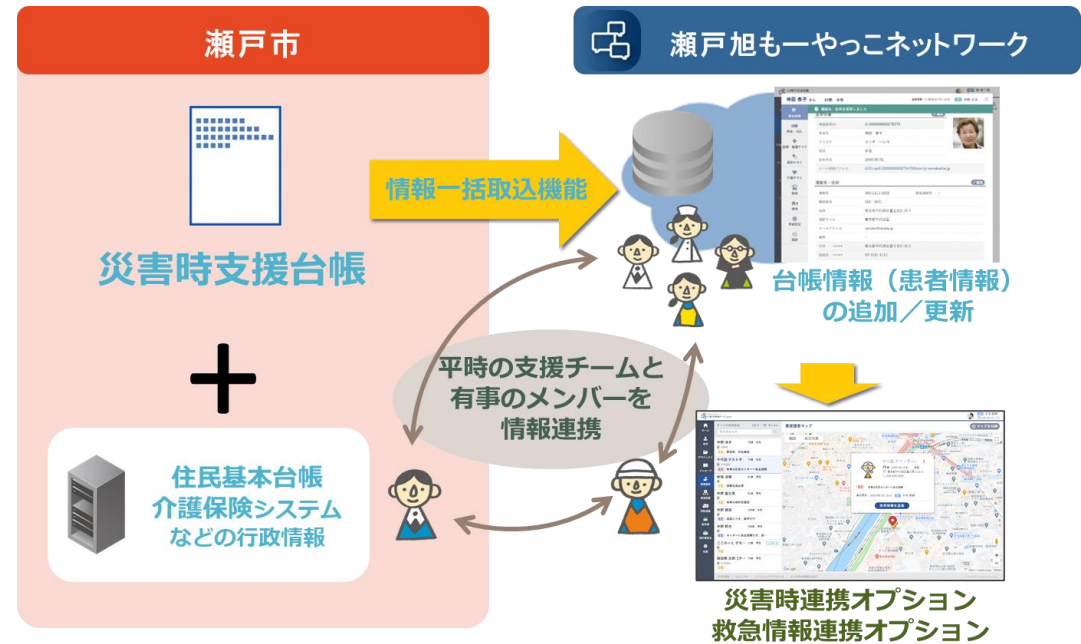
withコロナ時代の“見守り”として運用を拡大していきます！

公民連携事業 事例②

高齢者見守りシステム事業

IIJ
×
瀬戸市

令和2年9月26日に瀬戸市×瀬戸旭医師会×IIJで連携協定を締結



令和3年度より災害者支援台帳の整備も順次進めていきます！

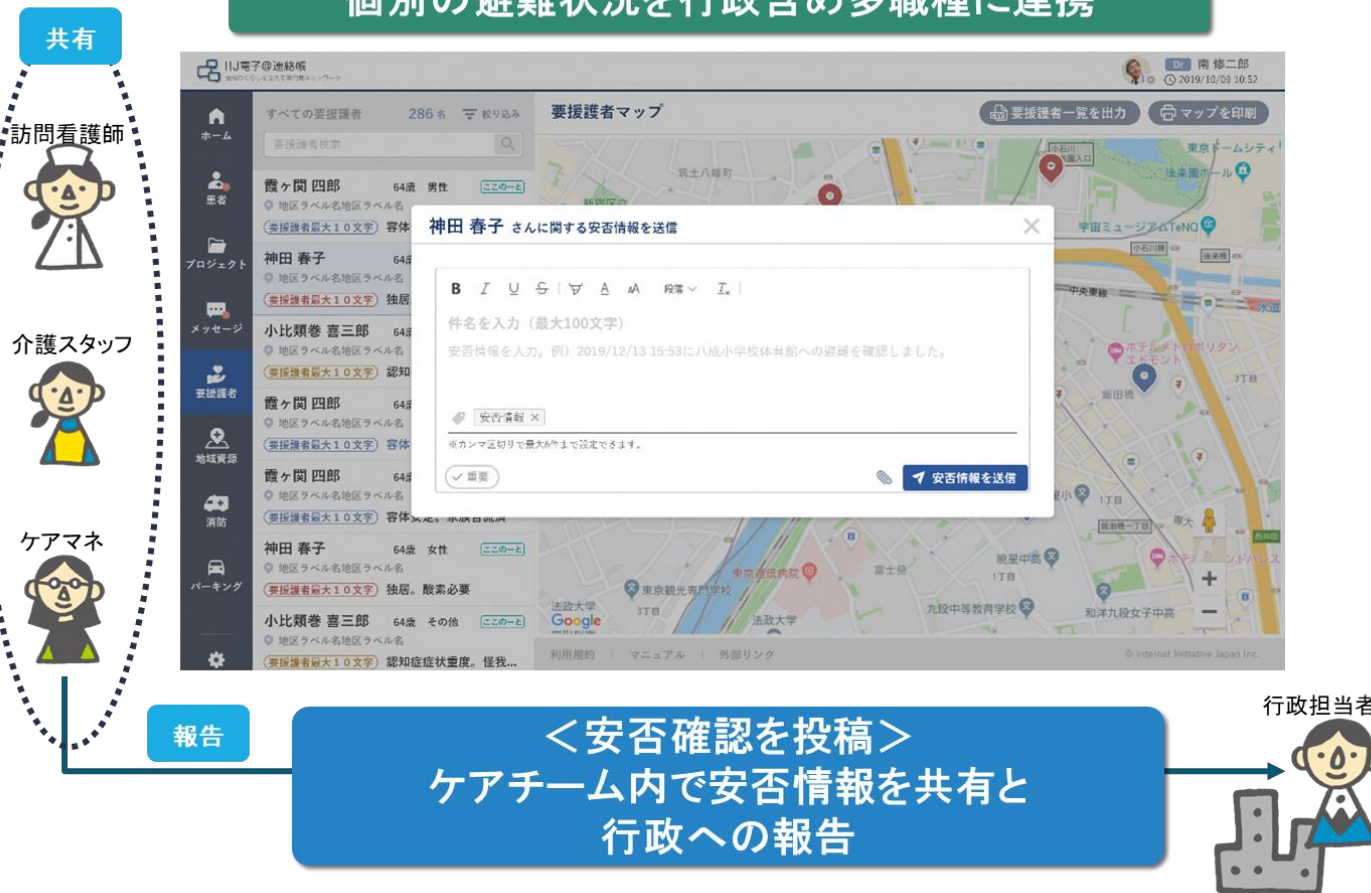
[プレスリリースの詳細はこちら](#)

瀬戸旭医師会、瀬戸市とIIJの3者が、ICTを活用した“人とまちのつながりネットワーク”構築連携に関する協定を締結 | IIJについて | IIJ

高齢者見守りシステム事業

IIJ
×
瀬戸市

個別の避難状況を行政含め多職種に連携



公民連携事業 事例②

高齢者見守りシステム事業

IIIJ
×
瀬戸市

・要援護者をGoogleMap上に地図表示します。
・「新しい生活様式」で、「在宅避難」が増加する。

氏名	年齢	性別	状況
中野 洋子	78歳	女性	独居者。避難の際は介助が必要
千代田 テスト子	75歳	女性	緊急時 所在確認 有事は区民センターへ自主避難
新宿 淀橋	81歳	男性	避難支援必要
中野 富士見	81歳	男性	有事の場所確認
中野 鷲宮	105歳	女性	高齢につき、要声かけ
中野 野方	108歳	男性	センターに自主避難だが、高...
飯田橋 太郎	70歳	男性	
患者 次郎	70歳	男性	

地図上で援護者を表示し、
行政・医療介護職で安否確認

赤・青・黄の3色のラベルを
設定可能

ご視聴ありがとうございました！

ご紹介した事業に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】

瀬戸市役所健康福祉部高齢者福祉課地域支援係

TEL 0561-88-2626 (直通)

Email koreisha@city.seto.lg.jp

参考：[IoTを活用した“もーやっこサポート”を開始します！ | 瀬戸市 \(city.seto.aichi.jp\)](https://city.seto.aichi.jp)

